

6 月の展示情報

町内の写真家による展示、好評開催中です！6 月にはぎわい番所ぶらっとでも開催。

全戸配布

2025
6 月号芸術村
かわらばん

6 月の休館日

定例休館日（月）（火）

2（月）、3（火）

9（月）、10（火）

16（月）、17（火）

23（月）、24（火）

30（月）

開館時間：10:00-17:00

入館料：町民無料

＊町外の方

大人 300 円 / 小人 100 円

未就学児は無料

アーティスト滞在日記

**Kamran Samimi**

カムラン・サミミ

ハワイ出身・在住

滞在期間：5/1～5/31

専門分野：絵画・彫刻



奥川地区での田植えの様子。

滞在中、奥川地区で田植えにも参加。初めての田植え、裸足で泥の感触が気持ちよかったとのこと。

西会津の木、石、また出ヶ原和紙など、西会津のさまざまな素材で制作を試みたカムランさんの作品は、11月に展示を予定しています。

5月に滞在制作を行ったカムランさん。1ヶ月という比較的短い滞在期間で、精力的に制作を行いました。近くの神社で倒れてしまった大きな木を許可を得て材料とし、作品をつくった。大きな石を掘り起こし、作品をつくりました。

石の彫刻を制作する時は、石にドリルを入れ、一箇所割っては石と対話する時間を持つのだそうです。石の声を聞き、どのように形づくっていくかを考えながら制作を進めるのだとか。



ある日の制作風景。屋外で制作していると声をかけられることも。



Sylvie Deparis



Anne-Laure H-Blanc

5月末から、2名のアーティストがフランスから来町しています。昨年、3ヶ月滞在されたアランさんからのご紹介で西会津にいらっしゃることになりました。

絵画、インスタレーション、動画など多岐にわたる表現活動をされるお二方ですが、西会津の自然や文化に大変関心があるとのこと。西会津の自然や文化に触れ、出会いの中から生まれる表現活動に焦点を当てて、滞在制作をしたいとのことでした。どんな交流が生まれ、作品に表現されるのか、楽しみです。

**Sylvie Deparis**

シルヴィー デパリス

フランス出身・在住

滞在期間：5/31-7/9

専門分野：描画、インスタレーション、写真、映像

**Anne-Laure H-Blanc**

アンロール・ブラン

フランス出身・在住

滞在期間：5/31-7/11

専門分野：描画、スタンブ、モノタイプ

滞在アーティストのご紹介

開催中

～6/27(金)

好評により第2弾！

フォトスタジオ

「スズトヨ写真展」

昭和 21 年創業、西会津の歴史のひとつとも言える歴史ある写真館、フォトスタジオスズトヨさんによる写真展が好評により、第 2 弾の展示が開催中です。スズトヨ写真館として、学校の卒業アルバムや記念写真、西会津の大切な場面を記録し続けてきた写真館です。前回とは違った作品も展示されますので、ぜひ足を運んで見てください。

会場：にぎわい番所ぶらっと
(旧野口燃料)

開催中

～7/6(日)

石川宣彦 写真展

「日昇」

40年以上にわたり、会津の自然風景を写し続けている写真家・石川宣彦さんの写真展。展示のタイトル「日昇」にも象徴される、繊細な光の極まった瞬間を切り取った写真は、風や空気の温度も伝わってくるようです。西会津の美しさを再発見する写真の数々をぜひご覧ください。

石川さんのInstagramでは春の光あふれる写真が更新されています。

石川宣彦さん
Instagram

開催中

～7/6(日)

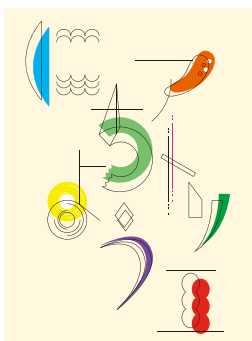
青津京介 写真展

「日々の上、感情の下」

普段見ることのない視座から見る西会津町の景色。見慣れた集落の風景は新たな視点によりいつもと違った輝きを感じます。

青津さんの作品は、様々なアーティストとのコラボレーションや雑誌の表紙を飾るなど、多岐にわたっているのも、もしかしたら見たことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。地域へのあたたかな眼差しを感じる青津さんの作品をぜひご覧ください。





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

5月は毎年イベントが盛りだくさん。特に連休は賑やかな芸術村ですが、アトリエにも多くの方々にお越し頂きました。

日頃から、なるべく多様な素材にふれることを意識しているのですが、これは五感への刺激を多くすること、感性が開くお手伝いになればと考えるから。

ということで、連休の特別体験メニューのひとつに「革」をご用意。革は、手触りも様々、匂いも独特です。そして五感への刺激以外にも、これは生きていた獣の革なのだという事実には何か感じ取ってもらえることがあれば、と。

さて、こちらの意図はさておき、夢中になって革でキーホルダーを作る子供たち。今回は革に型押しする内容だったのですが、思うようにいかないことも、工夫をしてみたことも、大事な経験。出来上がった唯一無二の自分のキーホルダーはどれもすっかり気持ちが入っていて、すてきでした！



5月のアトリエ

にちようアトリエ 6月予定表

6/1 おやすみ

6/8 「ピタゴラに挑戦!!!」

みなさんご存知のピタゴラ風ミノ装置、作るのって難しいのかな???うまくいってもいなくても、チャレンジしてみましょ♪

6/15 おやすみ

6/22 「さなぶりの笹だんご作り♪」

13時
スタート!

さなぶりって、知ってる??今回は特別にふみこ先生をお迎えして、さなぶりによく作る笹だんごをみんなで作ってみます!エプロンと三角巾(手拭いや大判ハンカチでOK)を持参してねー!

★こちらはご予約をお願いします。niav.public@gmail.comに「6/22 アトリエ参加希望」とメールを送ってください!

6/29 おやすみ

にちようアトリエは、日曜日の 13:30 ~ 15:30 (時間内の出入り自由)、予約は要りません。参加費もありません。年齢も問いません。どうぞお気軽にお越しください!

※予定は変更になることがあります。その場合は芸術村の Instagram や Facebook ページにてお知らせします。

スタッフおすすめ 今月の本

ありがとうもごめんなさいもいらない
森の民と暮らして人類学者が考えたこと

著：奥野克巳 出版：亜紀書房



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフオススメの本をご紹介。今月は清野が担当します。

「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉を持たず、反省することもない。同じ地球上で生きる人類としてこれほどの隔たりがあるのかという素朴な問を携えて読み進めると、実は、私たちが信じている道德のようなもの、は案外通用する範囲が限られているということを実感させられる。ボルネオ島の狩猟採集民「プナン」とのフィールドワークから見えてきたこと。豊かさ、自由、幸せとは何かを根っこから問い直す、刺激に満ちた人類学エッセイ。



ある日のランチ。いただきもののワラビをみんなで舌鼓。春は山の恵みが豊かで、食卓の彩りで元気が出ますね。こうしてみると、同じワラビでも、いろんな緑色をしていることに気づきます。山の緑色の色見本のようで、いつもうっとり眺めてしまいます。

山菜の苦味は、冬の間に溜まった老廃物を排出するために肝臓のサポートをするそうで、冬眠から目覚めた熊も春に大量の山菜を食べて大量の糞を出して動きだすそうです。必要なものが必要な時期に生えてくる自然の正確さには本当に感動しますね。皆さんはこの春はどんな山菜を食べましたか。



インスタ日記



芸術村の舞台裏

5月に滞在したアーティスト・カムランさん。自然の素材を使い作品を作られるのですが、西会津の自然にある色とりどりの石を材料に試作するお手伝いをしました。

この石を細かく粉碎し、布に定着させる工程と一緒に考えながら、古くから顔料・染料として使われてきた石の魅力に気づく体験でした。

【HP】

【Instagram】

【Facebook】

【YouTube】



マワリテメクハ
季節の薬膳ノート
「アスパラガス」
アスパラガスの旬をむかえましたね。甘みがあって土の香りがするアスパラガスはアスパラギン酸というアミノ酸が豊富で疲労回復やスタミナ増強に効果的。薬膳的視点でいうと、「清熱」「利湿」の作用があり、身体の熱と湿気を取り去ります。身体に余分な水分が溜まり、その湿気自体が熱を帯びた状態を湿熱と言いますが湿熱の改善に役立ちます。また、体液を補い、乾燥した身体を潤し、空咳などを改善します。

こんな食べ方がオススメ
アスパラと鶏肉の炒め物
【材料】材料・4人分、鶏胸肉1枚、ネギ60g、生姜1かけアスパラ3本、油適量、酒小さじ2、塩粒小さじ1、胡椒少々
【下準備】アスパラガスを手でサッと湯がいてカット。鶏肉は皮を外してカットしたら酒・塩粒・コショウを揉み込む。生姜は皮ごとみじん切り。ねぎは斜め切り。
1、フライパンを熱して油をしき、生姜を炒めてから鶏肉を加える。
2、鶏肉に火が通ったら、ネギとアスパラガスを加え、塩で味をととのえる。



【お問い合わせ】tel：0241-47-3200
mail：niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752